

まちづくり委員会

委員長 名：磯部 伸夫

副委員長 名：柿澤 伸宜、平井 麻衣子

委員 名：河村 琢磨、栗原 正樹、榊原 正博、蓮見 太郎、兵藤 忠洋、
樋渡 悠浩、松尾 崇、御代川 洋平、柳澤 大輔、山本 朋広

1) 事業報告

(Ⅰ) 災害時における知識、リーダーシップを発揮できる能力を高める事業の開催

(a) 内 容：勉強会の開催

(b) 時 期：2012年 4月10日（火曜日）

(c) 開催場所：鎌倉商工会議所301会議室

(d) 対 象：正会員26名 入会希望者2名 協力団体3名

(Ⅱ) まちの災害時における問題点を考え、対応力を高める事業の開催

(a) 内 容：研修・体験事業の開催

(b) 時 期：2012年 8月19日（日曜日）

(c) 開催場所：鎌倉海浜公園 由比ガ浜地区

(d) 対 象：正会員30名 入会希望者2名 協力団体10名
市民200名

(Ⅲ) 安全で安心なまちを次世代に引き継ぐ道標となる事業の開催

(a) 内 容：研修事業の開催

(b) 時 期：2012年 11月23日（金曜日）

(c) 開催場所：鎌倉市役所 鎌倉商工会議所

(d) 対 象：正会員30名 入会希望者2名 協力団体60名
市民140名

2) 委員会報告

本年のまちづくり委員会は、次世代にも安全で安心できるまちにする一助となるべく一年間活動しました。鎌倉青年会議所は、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会と「災害時におけるボランティアセンター開設と運営に関する協定書」を締結しております。そして、本年のまちづくり委員会はこの協定書をより有機的、機能的なものとするべく、三者の関係を強め、具体的な訓練を行うことを念頭に行動しました。

4月例会では、有事に社会的役割を果たせるように、会員の資質を向上すべく、災害に対する当会議所のこれまでの取組、現在の枠組、青年会議所に期待される役割をあらためて学びました。また、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会にもご協力、ご参加をいただき、協力団体との関係を強めることができました。

8月例会では、「こども防災フェスタ！」と銘打ち、海浜公園由比ガ浜地区にて鎌倉市消防本部を迎え、当会議所と協働での体験型講座を設けました。多くの市民、協力団体にご参加をいただき、さらに多くの子供達とふれ合うことで、あらためて安全で安心できるまちとするための使命感を感じました。

そして、11月例会では、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会と三者の共同主催により、「鎌倉市災害ボランティアセンター設置運営訓練」を開催しました。当日は荒天でしたが、幅広い世代の多くの市民、協力団体にご参加いただきました。また、NPO団体等と三者との意見交換の場を作ることで、ALL鎌倉として災害対策の枠組みを作る第一歩となりました。

今年の当委員会の活動を通して、各所において理事長の掲げている「縁」を構築することができました。また市民参加の公開例会の開催で、会員の皆様には多くの労をかけたが、一つの事業を一緒に作り上げることで、内部の信頼関係の「縁」に繋がったと思います。そして、年間の活動を通して、当委員会の目的である次世代にも安全で安心できるまちにする一助になったと確信致します。最後に貴重なご意見を頂き、長時間お付き合いいただいた会員の皆様、共同団体をはじめとするご協力、ご参加いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げまちづくり委員会報告といたします。